

JAおおいた東部営農経済センター 「甘太くん」部会

～令和5年7月28日（金）訪問～ 【国東市】



JAおおいた東部営農経済センター「甘太くん」部会は、県東部振興局管内（国東市、杵築市、日出町、別府市）の高糖度かんしょ生産者で構成され、貯蔵期間などの出荷基準を満たしたものを大分県のブランドかんしょ「甘太くん」として出荷しています。最近では生産者も増え、生産面積も拡大し産地化が進んだことから、令和4年に部会が設立されています。

「甘太くん」は、臼杵市や豊後大野市で多く生産されていますが、東部振興局管内でも水田の畑地化等の取組もあって、年々生産者が増加し、令和5年度には31戸が12.6haの作付けを行っています。

栽培には、かんしょに適した土壌改良や農地の整備、獣害対策などが必要となるため、JAおおいた東部営農経済センターや県、市と協力しながら、「甘太くん」の新たな産地として、さらなる拡大を図っていることや、シンガポールやマレーシアといった東南アジアへの輸出にも取り組まれていることをお話し、懇談後には、出荷基準である収穫後40日以上貯蔵するために令和4年に整備した「甘太くん」の貯蔵庫を見学しました。

土壌改良や農地の整備などには多くの手間と時間がかかるのですが、県も最大限の支援をしたい、また、令和6年4月から6月の「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」や令和7年開催予定の「大阪・関西万博」の好機を捉えて、アジア、北米等へ情報発信していきたいとお伝えしました。

対 話 風 景



関連する県の施策

☆事業名：短期集中県域支援品目生産拡大推進事業

事業概要：短期集中県域支援品目について、農業団体等が行う産地課題の解消につながる取組に対し、期間を定め、総合的に支援

・短期集中県域支援品目（ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーズ）

【新】高糖度かんしょの広域選果場整備支援 補助率 3/4以内（国1/2、県1/4）

予算額：7億5,959万円（うち高糖度かんしょ対策 5億4,902万3千円）

※【新】は令和6年度からの新規事業

【甘太くん】

大分県産の「べにはるか」を収穫後40日以上貯蔵することで、ぐっと甘味を増加させた大分独自ブランドです。特に糖度は通常の1.5倍ほどもあり、焼き芋にすると、ツヤツヤの蜜がにじみ出し、驚くほどのしっとり感を味わえます。糖度検査をクリアし、全農おおいたを通じて販売されたものだけが「甘太くん」の名を冠することができます。

